

大宮配水場応急給水施設開設方法(住民用給水栓)

① 住民用給水栓のフェンス(出入口各1か所)を開く。

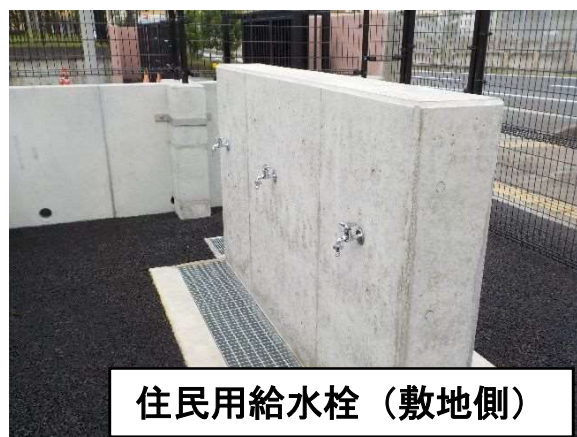


※ 防犯上、開錠番号を変更する場合があります。
変更した場合は自治会経由でご連絡いたします。

② 自家発電機を稼働させる。 ※ 別添「自家発電機の稼働方法」を参照



③ すべての蛇口を開き、約10分間、水を流して排水する。(停滞水の排水)



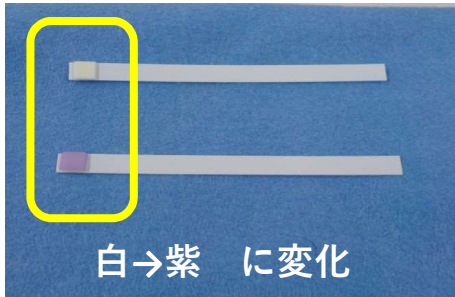
④ 簡易水質検査(残留塩素測定)を行い、給水を開始する。



住民用給水栓エリア内にある
収納箱から試験紙を取り出す。



試験紙を1枚取出し、蛇口から流れる水に数秒間当てる。



試験紙の色が変化(白→紫)が確認できたら給水を
開始する。

水道総務課 広報・防災係

TEL 048-714-3182

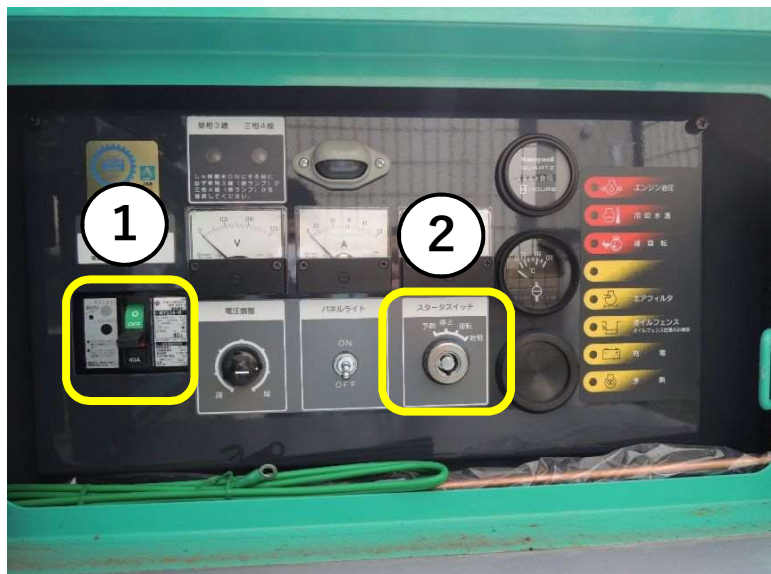
自家発電機の稼働方法

A 発電機の始動



【発電機正面】

取っ手部を引いて、パネルを開き、操作盤を操作する。



1. ①のしゃ断器が「OFF」になっていることを確認する。



2. ②のスタータスイッチを〔始動〕に動かし、エンジンを始動する。



(スターターキーは、操作盤内にあります。)

※ スイッチは、始動後に手を離すと〔運転〕位置に戻ります。

【気温が低く始動しづらいときの対処法】

- ・ スタータスイッチを予熱位置に回して保持 (約 15 秒)
- ・ 予熱ランプが消灯したらスタータスイッチを〔始動〕に動かしエンジンをかける。



赤点灯
→消灯



3. エンジン始動後、**約5分間**の暖機運転を行う。

4. ①のしゃ断器を「ON」にする。



※ 周波数や定格電圧は調整済みであるため、調速ノブや電圧調整つまみの操作等は不要

5. ポンプが自動で動き、蛇口から水が出てきます。

B 発電機の停止 始動時と逆の順序で操作する。

1. ①のしゃ断器を「OFF」にする。



2. このままの状態**約5分間**の冷却運転を行う。

3. ②のスタータスイッチを[運転]から「停止」に動かす。



4. ポンプが自動停止し、蛇口からの水が止まります。